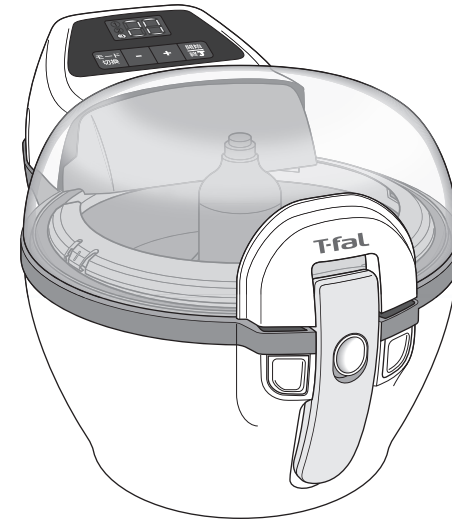


ACTiERY®

アクティブライ



キ
ャ
ラ
ー

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒141-0022 東京都品川区東五反田 3-14-13 高輪ミュージズビル
 修理センター：〒144-0042 東京都大田区羽田旭町 11-1
 羽田クロノゲート 7 階 YMM 内

お客様
相談センター



0570-077772

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文
センター



0570-086072

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

※ 全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。
 ※ 商品により部品としての取り扱いのない場合がございます。

はじめに

安全上のご注意	2
使用上のご注意	4
各部の名称	5
部品の取りはずし方、取り付け方	6
加熱時間とオイル量の目安	8
オイルスプレーについて	9
回転パドルの回転数について	9

使い方

調理のコツ	10
調理する	11

その他

お手入れをする	16
電源コードの収納方法	17
こんなときは	18
エラー表示について	20
製品仕様	21

- お買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 読み終わったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 本製品は家庭用です。業務用または一般家庭以外での使用や取扱説明書の指示に反する使用について、弊社は一切の製造責任と保証の責任を負いかねます。
- 電源コードが破損している場合、けがをする恐れがありますので、弊社お客様相談センターにご連絡ください。

絵表示の例



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が表記されています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が表記されています。



警告

誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

電源・電源コード



指示

定格 15A・交流
100V のコンセント
を単独で使用する



他の機器と併用すると、発熱による火災や故障の原因になります。

- 延長コードも定格 15A のものを単独でお使いください。



指示

使用中、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、ただちに使用を中止する

そのまま使うと、ショートや発火するおそれがあります。弊社お客様相談センターまでご相談ください。



禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。



指示

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。

- 傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。



指示

電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く

電源プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



禁止

タコ足配線はしない

火災の原因となります。



禁止

電源プラグや電源コードを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

お取り扱い



分解禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造しない

発火したり、異常作動をしてけがをするおそれがあります。



指示

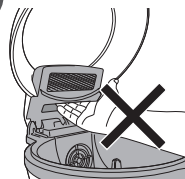
万一、製品から火が上がったときは、本体を水につけたり、水をかけたりしない

感電・けがをするおそれがあります。必ず電源プラグをコンセントから抜き、水で濡らした布で火を覆ってください。



禁止

本体の中に手を入れない



やけど・感電・けがをするおそれがあります。



禁止

カーテンの近くや食器戸棚の下など、可燃性のものの近くで本製品を使用しない

火災の原因になります。



禁止

子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わない

感電・けがをするおそれがあります。



指示

子供が本製品でいたずらをしないように注意する

感電・けがをするおそれがあります。



禁止

調理中は本体とふたのすき間に手を近づけない

やけどをするおそれがあります。



注意

誤った取り扱いをしたときに、人が損害を負う可能性および物的損害が想定される内容です。

電源・電源コード



コンセントからはずす

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



指示

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電したりショートしたりして、発火するおそれがあります。

お取り扱い



禁止

製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしない

けがや故障の原因になります。



禁止

調理中はそばを離れない

火災の原因になります。とくにお子様がいる場合はご注意ください。

安全上のご注意 (続き)

お取り扱い

！ 指示 お手入れや収納するときは、電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めてからおこなう

高温部に触れると、やけどの原因になります。

！ 注意 使用中や使用直後は高温部（ふたなど）に触れない

やけどの原因になります。

！ 注意 本体が熱くなっているときは、製品を動かさない

やけどの原因になります。

！ 注意 以下の場所では使わない

- 可燃物の近く
- 熱に弱い敷物（畳・じゅうたん・テーブルクロス・プラスチックの置き台など）の上
- 食器戸棚の下
- 組み込みキッチンの中

！ 禁止 ストーブやガスコンロなど熱源のそばでは使わない

本体のプラスチック部分が熱で損傷するおそれがあります。

！ 指示 コンセントに電源プラグを差し込んでいるときは、電源コードをひっかかないよう気をつける

本体が落下し、やけどやけがをするおそれがあります。

！ 禁止 調理以外の目的に使用しない

けがや故障の原因になります。

！ 禁止 調理物が入っていない状態で電源を入れない

故障の原因になります。

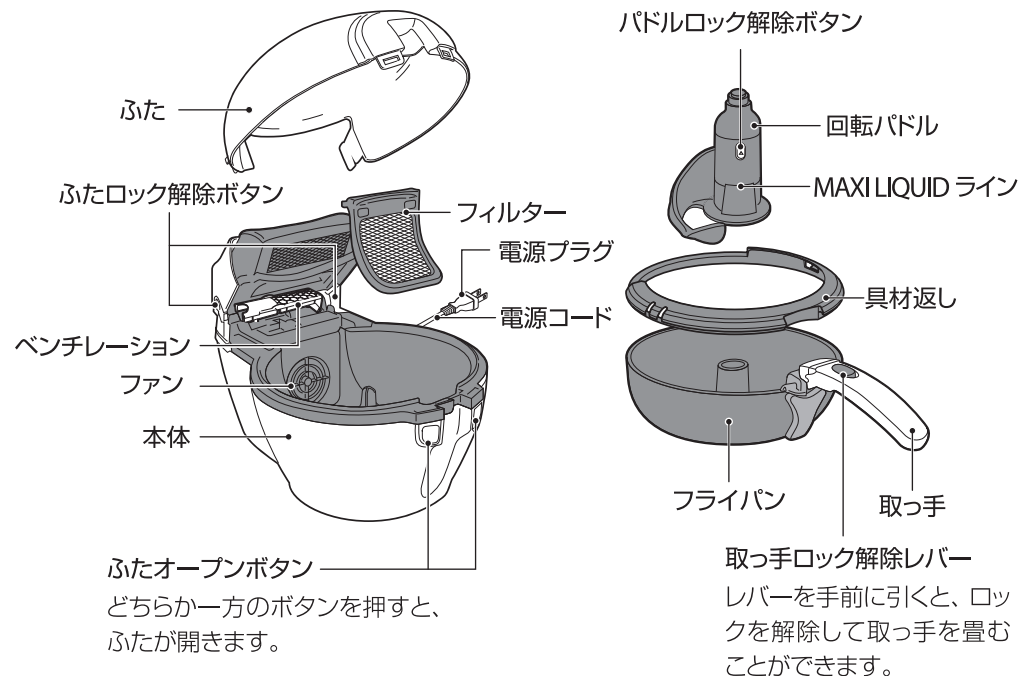
！ 禁止 不安定な場所や、すべりやすい物の上、水しぶきがかかる場所で使わない

製品が落下して故障したり、けがの原因になります。

使用上のご注意

- 本製品は必ず屋内で使用してください。
- 本製品は一般家庭用です。
- アクティブライテクノロジーでは、熱風を用いて食材を少ない油で調理します。調理中の熱風を放出させるため、本体とふたの間にはすき間が開いています。調理中はアクティブライ内が高温になり、すき間からは熱風が放出されますので、ご注意ください。
- 調理後や調理中にふたを開けるときは、ふたが冷めるまで少しお待ちください。ふたを閉めるときは、ふたの T-fal マークの部分を押して閉めることをおすすめします。

各部の名称



付属品

オイルスプレー



- ※ 初めて本製品をご使用になるときは、ふた、フライパン、回転パドル、オイルスプレーを中性洗剤で洗ってください。オイルスプレー以外は、食器洗い機もお使いいただけます。洗ったあとは、よく乾かして再び取り付けます。
- ※ 製品に使用されているプラスチックはすべて食品衛生法の基準を遵守しています。

パネル

モード表示

- ① 揚げる
- ② 炒める
- ③ その他（フライドポテト、冷凍食品、シチュー、デザートなどを調理するとき）

モードを切り換えます。


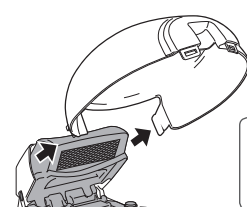
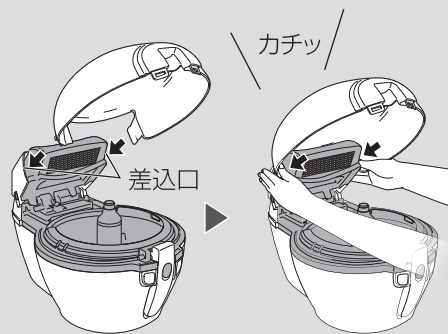

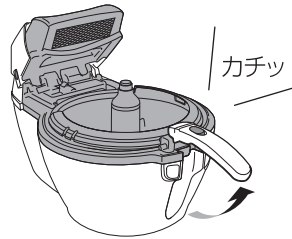
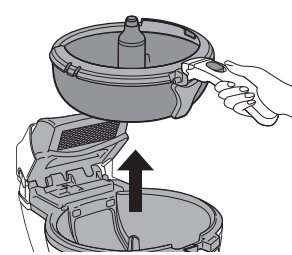
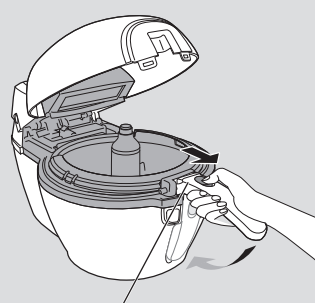
時間を増減します。



加熱時間表示

加熱を開始/停止します。

- 加熱中に押したとき
加熱の一時停止
- 加熱中に長押ししたとき
加熱終了、タイマーリセット
- 加熱を一時停止しているとき
加熱再開（ふたを開けているときは閉めてからボタンを押す）

部品の取りはずし方、取り付け方

	取りはずすとき	取り付けるとき
ふた	<p>1. ふたオープンボタンを押してふたを開け、本体左右にあるふたロック解除ボタンを押します。</p>  <p>ふたロック解除ボタン</p> <p>2. ふたを引っぱってはずします。</p> 	<p>ふたを差込口に差しこみ、カチッと音がするまで押し込みます。</p>  <p>カチッ</p> <p>差込口</p>
	<p>ふたの取りはずし方、取り付け方については  こちらから詳しくご覧いただけます。</p>	
フライパン	<p>1. フライパンの取っ手をカチッと音がするまで、上に持ち上げます。</p>  <p>カチッ</p> <p>2. フライパンの取っ手をもち、フライパンを取りはずします。</p> 	<p>フライパンを本体に取り付け、取っ手固定レバーを手前に引いて、取っ手をたたみます。</p>  <p>取っ手固定レバー</p>

	取りはずすとき	取り付けるとき
回転パドル	<p>パドルロック解除ボタンを押しながら上に引っばって取りはずします。</p>  <p>パドルロック解除ボタン</p>	<p>フライパンの中央に回転パドルをカチッと音がするまで確実に差しこみます。回転パドルは、フライパンが空の状態のときに取り付けてください。</p>  <p>カチッ</p>
	<p>回転パドルの取りはずし方、取り付け方については  こちらから詳しくご覧いただけます。</p>	
具材返し	<p>2箇所のカギをはずし、フライパンから取りはずします。</p>  <p>ツメ</p>	<p>具材返しの切り欠きをフライパンの取っ手の位置に合わせ、カチッと音がするまで上から軽く押しして2箇所のツメをフライパンに固定します。</p> <p>※ 材料がこぼれるのを防ぐため、調理時は具材返しを取り付けることをおすすめします。</p> <p>切り欠きを取っ手の位置に合わせる</p> 

加熱時間とオイル量の目安

加熱時間やオイル量は目安です。お好みに合わせて時間やオイル量を調節してください。例えば、もっとカリッとした仕上がりのポテトを作りたいときは、加熱時間を少し増やします。

レシピ (2人分)	オイル量	調理時間
鶏のからあげ (約 250g)	なし	20分
とんかつ (ヒレ、ロース) (約 250g)	1切れの両面にオイルスプレーを4プッシュ	ヒレ 18分 / ロース 20分
海老フライ (10～12尾)	1切れの両面にオイルスプレーを4プッシュ	9分
焼きそば (約 300g)	小さじ1 (5cc)	14分
野菜炒め (約 300g)	小さじ1 (5cc)	11分
アスパラ炒め (約 180g)	小さじ1 (5cc)	細め 6分 / 太め 8分
グリルドサーモン (約 270g)	小さじ1 (5cc)	8分
大学いも (約 250g)	小さじ1 (5cc)	11分
フレンチフライ (冷凍)	なし	20分
フレンチフライ (生)	小さじ1 (5cc)	20～25分

加熱時間とオイル量の目安については
こちらから詳しくご覧いただけます。



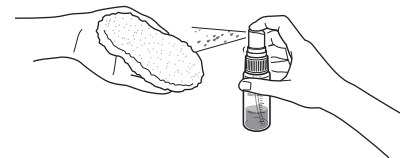
オイルスプレーについて

使い方

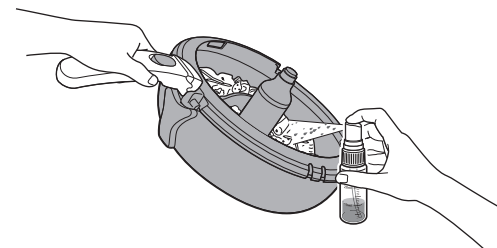
1 ボトルにオイルを入れ、
ふたをします。



2 材料にオイルを吹きかけます*。



材料をフライパンに入れたままオイルを吹きかける場合は、本体からフライパンを出してください。



* 詳しくはレシピブックをご参照ください。

オイルスプレーの使い方
についてはこちらから
詳しくご覧いただけます。



使い終わったら

食器用洗剤で洗浄してください。

オイルスプレーは、食器洗い機で洗わないでください。

回転パドルの回転数について

調理中、回転パドルは以下のように動作します。

回転パドルは、フライパンが空の状態に取り付けてください。

モード1 使用時	調理開始時には作動しませんが、調理時間の40%を超えると、1分間に約2回転の割合で断続的に回転します。(1秒動き、1秒停止)
モード2 使用時	調理中は1分間に約10回転のスピードでつねに回転します。
モード3 使用時	調理開始と同時に1分間に約2回転の割合で断続的に回転します。(1秒動き、1秒停止)

調理のコツ

● フライドポテトを作るとき

塩は、フライパンにフライドポテトが入っているときではなく、加熱が終わってお皿に移してからかけてください。カリカリにするには、オイルを足してください。

● 野菜を入れるとき

野菜は、よく火が通るように小さめに切ってください。

● 生のじゃがいもを入れるとき

カリッと仕上げるために、きれいな水でよく洗ってから、清潔なタオルで水分を拭きとってください。カリカリにするには、オイルを足してください。

● 麺を入れるとき

レシピブックの手順に従って調理してください。

● たまねぎを入れるとき

たまねぎは、薄くスライスしたほうがうまく調理できます。スライスしたものをばらばらにしてフライパンに入れ、くっつかないように手早く混ぜます。

● 肉類を入れるとき

肉類は、上面が乾燥するのを避けるのと、均等に熱を加えるため、加熱中に1回か2回一時停止して混ぜてください。

● にんにくを入れるとき

にんにくは、みじん切りにして入れたほうが回転パドルにくっつきにくくなります。

● ハーブ、香辛料をかけるとき

ハーブ、香辛料は、少量のオイルか液体に混ぜてからフライパンに投入してください。そのままフライパンに入れると、熱風で飛ばされてしまいます。

● とんかつを作るとき

薄めの肉を使うと、うまく調理できます。

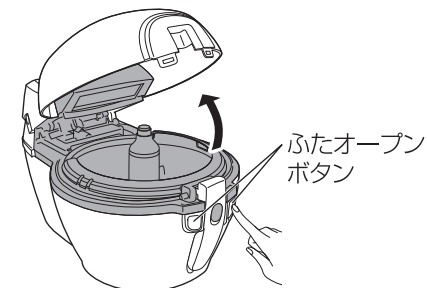
材料はレシピブックにしたがってご用意ください。

調理する

初めてお使いいただくときは

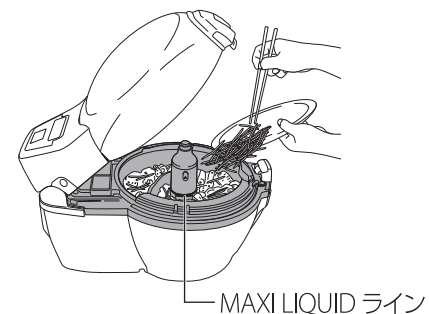
- 水のみを500cc入れた状態で30分間加熱することをおすすめします。30分経ち、ブザーがなったら、お湯を捨て、フライパンを乾かしたあと調理を始めてください。
- 使い始めは、においがすることがありますが、これは無害なもので、使用しているうちになくなります。

1 ふたオープンボタンを押してふたを開けます。



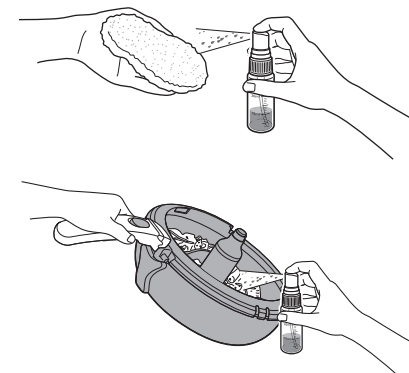
2 フライパンに材料を入れます。

- 材料は均等の高さになるように入れてください。
- 材料や水分を入れる場合は、回転パドルにあるMAXI LIQUIDライン以上入れないでください。
- 材料がこぼれるのを防ぐため、レシピブックに記載している分量を守ってください。



3 付属のオイルスプレー、またはお手持ちの計量スプーンなどを使って、分量のオイルを均等になるように材料にかけます。

- スプレーを勢いよく押すと、上手にオイルを吹きかけることができます。ゆっくり押しすぎると、オイルがまとまって出る場合があります。
- スプレーはなるべく垂直に持ってください。
- 揚げものを調理するときは、食材の全面にオイルがスプレーされている状態にしてください。オイルのかかっていないところがあれば、適宜スプレーしてください。

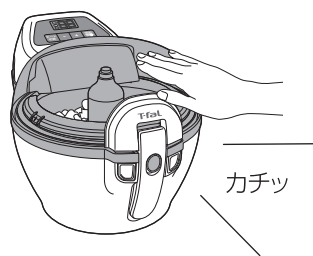


調理する (続き)

4 ふたをカチッと音がするまで確実に閉めます。

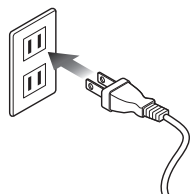
ふたを閉めるときは、フライパンの取っ手をたたんでください。

- 計量スプーンなどをフライパンの中に置いたままにしないようご注意ください。



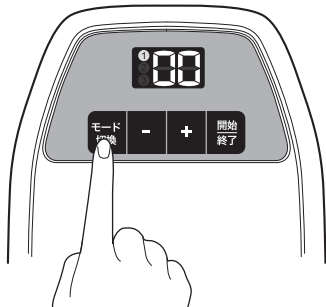
5 電源プラグをコンセントに接続します。

ブザーが鳴り、電源が入ります。



6 モード切換ボタンを押して、モードを選択します。

- 電源を入れたまま 3 分間経過すると、スタンバイモードに入ります。いずれかのボタンを押すと、再開することができます。



モードについて

① 揚げる

主にとんかつや、唐揚げなど、仕上がりをカラッとさせたい料理に使用します。

② 炒める

主に焼きそばやチャーハンなど、炒める料理に使用します。

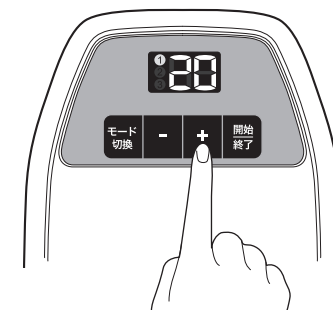
③ その他

主に冷凍のフライドポテト、カレー、ビーフストロガノフなど、ゆっくりと火を通す料理に使用します。

7 +、-ボタンを押して、加熱時間を設定します。

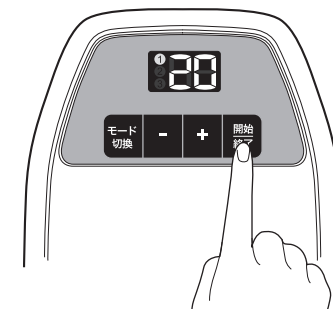
表示は分単位です。

- +、-ボタンを長押しすると、時間を早く進めたり、戻したりできます。
- 加熱時間は最長で 45 分間です。



8 開始/終了ボタンを押して、加熱を始めます。

フライパン内部に熱風が送られ、加熱されます。加熱中は、回転パドルがゆっくりと時計回りに回転します。(各モードの回転数に関しては、9 ページの「回転パドルの回転数について」を参照してください。)

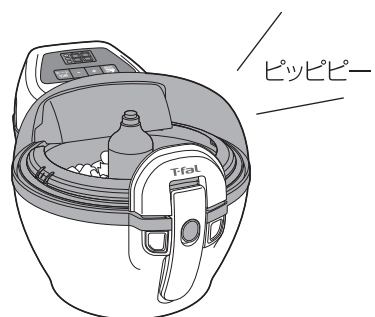


- 残りの加熱時間が分単位で表示されます。加熱時間が 1 分以内になると、秒数表示になります。
- 加熱中にふたを開けると、加熱が一時停止します。再開するときは、ふたを閉め、開始/終了ボタンを押します。
- 空だけはしないでください。
- 加熱中は以下の操作が可能です。

加熱を一時停止 / 再開する	開始 終了 を押す
加熱を中止する	開始 終了 を長押し
加熱時間を変更する	- + を押す

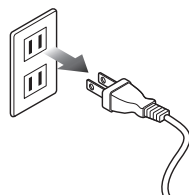
調理する (続き)

加熱が終わると、アラームが鳴ってお知らせします。



9 開始/終了ボタンを押して、アラームを止めます。

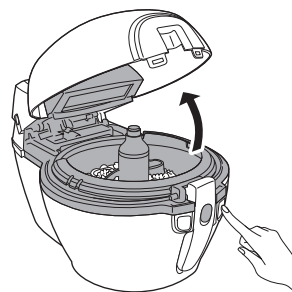
10 電源プラグをコンセントから抜きます。



11 ふたオープンボタンを押して、ふたを開けます。

! 注意

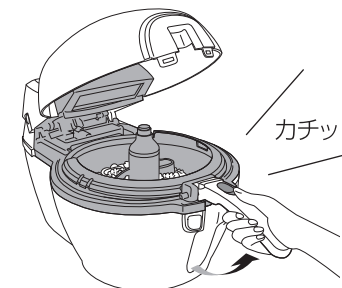
ふたやフライパンは非常に高温になっていますので、直接触れないようご注意ください。



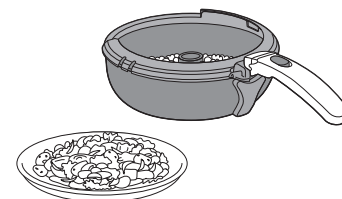
12 フライパンの取っ手をカチッと音がするまで上に持ち上げます。

! 注意

フライパンの取っ手がしっかりロックされ、固定されていることを確認してください。しっかり固定されていないと、フライパンを持ち上げたときに、調理物が落下してやけどをするおそれがあります。



13 フライパンを本体からはずし、調理物をお皿などに移します。

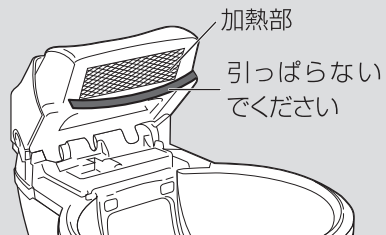


お手入れをする

- 電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めてからお手入れしてください。
- 研磨剤を含む洗剤や金属タワシ、漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。傷が付いたり、変色したりするおそれがあります。
- お手入れの際は、加熱部の下にある突起部を引っぱらないようご注意ください。



注意



ふた、フライパン、回転パドル、具材返し、オイルスプレー

使い終わったあとは、部品を取りはずし、スポンジに食器用洗剤をつけて洗います。

また、食器洗い機もお使いいただけます。

- フライパンや回転パドルに食品がこびりついたり、こげついている場合は、洗う前にぬるま湯に浸けておきます。
- 色の強い香辛料などは、ふたや回転パドルに色がつく場合がありますが、品質には影響ありません。

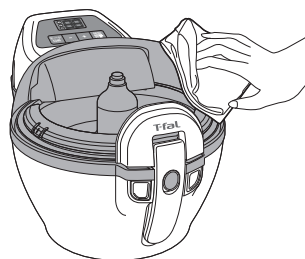
本体

電源プラグをコンセントから抜き、固く絞ったふきんなどで拭いた後、乾かしてください。

※ 本体を水で濡らさないでください。故障の原因になります。

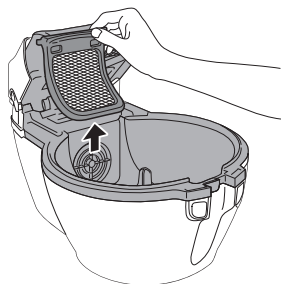


本体を水につけることは絶対におやめください。



フィルター

フィルターは上に引っぱって取りはずし、使用後は毎回洗ってください。



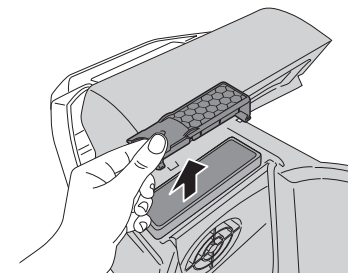
ベンチレーション

食品のかすなどが上にたまらないように、ときどき取りはずして食器洗い機またはスポンジで洗ってください。

ベンチレーションをはずしているときは、中に物が落ちないようにご注意ください。

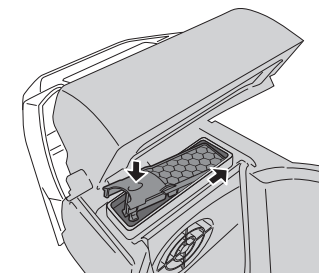
■ ベンチレーションの取りはずし方

左側の切り欠き部分を持ち、上に引っぱって取りはずします。



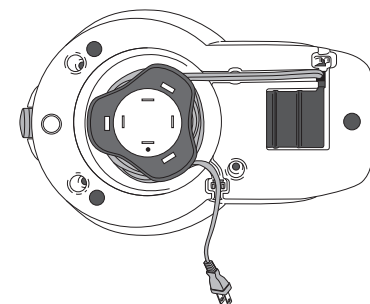
■ ベンチレーションの取り付け方

ベンチレーションの右側を差しこんでから、左側を上から押して取り付けます。



電源コードの収納方法

本体の底面にはコードの収納スペースがあります。右のようにコードを巻き付けて収納してください。



こんなときは

このようなとき	原因と思われるもの	対処の仕方
動作しない	電源プラグをコンセントに差し込んでいない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	調理時間を設定していない。	調理時間を設定してください。
	開始/終了ボタンを押していない。	開始/終了ボタンを押してください。
	ふたが開いている。	ふたを確実に閉めてください。
	製品が温まらない。	修理センターにご連絡ください。
回転パドルが回転しない	回転パドルが確実にセットされていない。	回転パドルが確実にセットされているか確認してください。回転パドルは、フライパンが空の状態に取り付けてください。正しくセットされているにもかかわらず動かない場合は、修理センターにご連絡ください。
	回転パドルに食材が引っかかって動かない。	食材によっては回転パドルに引っかかって止まってしまうことがあります（大きいものやちみつのようにくっつきやすいものなど）。 その場合は、ふたを開け、スプーンでかき混ぜてください。 調理を再開するときは、ふたを閉め、開始/終了ボタンを押します。
	モード1が選択されている。	モード1では、調理時間の40%を超えると回転パドルが回転します。
回転パドルがはずれてしまう	回転パドルがしっかりロックされていない。	回転パドルはカチッと音がするまで確実に差し込んでください。回転パドルは、フライパンが空の状態に取り付けてください。
でき上がった料理にムラがある	回転パドルをつけていない。	回転パドルをつけて調理してください。
	オイルが食材に均一にスプレーされていない。	とくに揚げものを調理するときは、食材の両面全体にオイルがスプレーされていることを確認してください。
	材料の大きさや厚さがばらばらになっている。	材料はなるべく均等の大きさ・厚さになるように切ってください。

このようなとき	原因と思われるもの	対処の仕方
でき上がった料理にムラがある	回転パドルが回転していない。	回転パドルが確実にセットされているか確認してください。回転パドルは、フライパンが空の状態に取り付けてください。正しくセットされているにもかかわらず動かない場合は、修理センターにご連絡ください。
材料がフライパンの端の方にかたまって動かない	材料が多すぎる。	8ページの「加熱時間とオイルの量の目安」にある量を守ってください。また、具材返しを取り付け、材料を減らしてください。
	最大量を超えている。	材料がMAXI LIQUIDラインを超えないようにしてください。
調理汁が本体の方にみれる	フライパンや回転パドルが正しく取り付けられていない。	フライパンと回転パドルを正しく取り付けてください。回転パドルは、フライパンが空の状態に取り付けてください。正しく取り付けても直らない場合は、修理センターにご連絡ください。
	具材返しが取り付けられていない。	具材返しが正しく取り付けられているか確認してください。（7ページ参照）
	MAXI LIQUIDライン以上の材料を入れている。	MAXI LIQUIDライン以上の材料を入れないでください。 本製品はスープ料理など液体の多い料理には適していません。
液晶パネルが表示されない	電源プラグをコンセントに差し込んでいない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	ふたが開いている。	ふたを閉めてください。
液晶パネルにエラー表示が出る	製品が正しく動作していない。	20ページの「エラー表示について」を参照してください。
麺が回転パドルに巻き付く	麺がよくほぐれていない。	麺を調理するときは、ザルに入れ、水でよくほぐしておいてください。また、フライパンに入れるときは、なるべく麺をひろげてください。
異音がる	モータに異常がある。	修理センターにご連絡ください。

エラー表示について

液晶表示	説明	対処の仕方
E1 E2	ファンが動いていません。	すべての部品（ふた、ベンチレーション、フィルター、フライパン）が正しく取り付けられているか確認してください。 また、部品の中や排気口の中に異物が入っていないか確認してください。 症状が直らない場合は、お客様相談センターにご連絡ください。
E3	製品を温度が低い場所に長い間置いておくと表示されます。	お使いになる前に 15℃以上の場所に 1 時間置いてください。 それでも症状が直らない場合は、お客様相談センターにご連絡ください。
E4	温度センサーに異常があります。	お客様相談センターにご連絡ください。
E5 E6	電圧が適正ではありません。	ご使用の電源を確認してください。 本製品は 100V の電圧でご使用になれます。

上記に記載されていないその他のトラブルにつきましては、弊社修理センターにお問い合わせください。



注意

修理技術者以外は絶対に分解・修理・改造しないでください。発火や異常動作をして、破損やけがの原因になります。修理は弊社修理センターにご相談ください。

製品仕様

ティファール アクティブフライ	
定格電圧	100V AC
定格消費電力	1150W
定格周波数	50/60Hz
サイズ（幅×奥行×高さ）	400mm × 270mm × 250mm
本体質量	約 3700g
コードの長さ	約 1.4m
付属品	オイルスプレー

※ 仕様・デザイン・価格等は変更になることがあります。ご了承ください。

※ 本製品は日本国内のみで使用できます。

※ 本製品はフランス製です。

愛情点検

●長年ご使用のアクティブフライの点検を!



こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる。
- 電源コードに傷が付いたり、通電したりしなかったりする。
- 使用中に異常な音がる。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へ点検・修理をご相談ください。

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒141-0022 東京都品川区東五反田 3-14-13 高輪ミュージズビル
修理センター：〒144-0042 東京都大田区羽田旭町 11-1
羽田クロノゲート 7 階 YMM 内

お客様
相談センター



0570-077772

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文
センター



0570-086072

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

※ 全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。
※ 商品により部品としての取り扱いのないものがございます。